

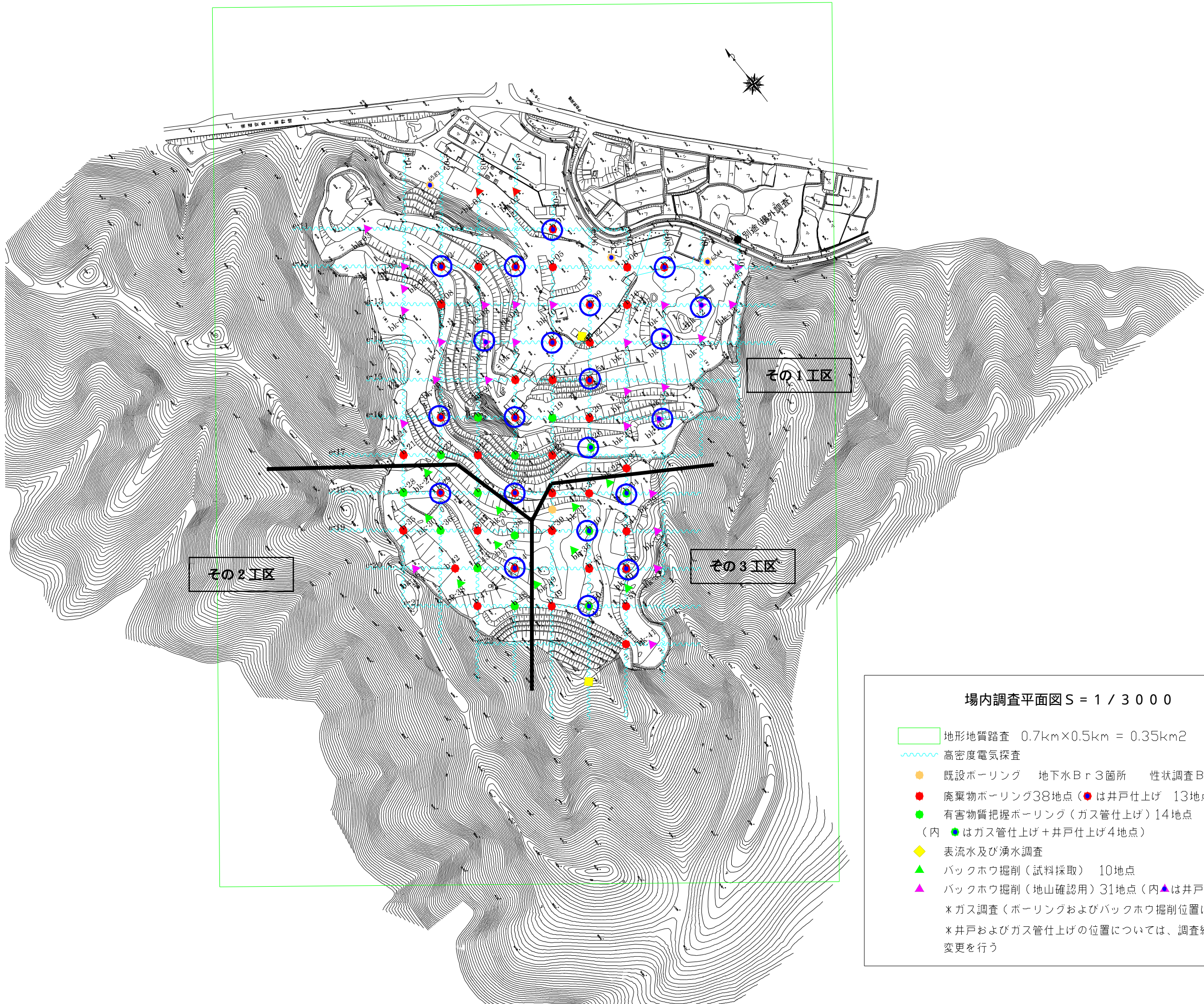
詳細調査概要（場内分）

場内詳細調査計画

調査内容			調査項目	全体数量	1工区	2工区	3工区	計	備考	
埋設廃棄物調査	廃棄物把握調査	廃棄物把握ボーリング調査	ボーリング掘削延長	736m	365	115	256	736	ボーリング38地点、掘削延長736m うち13地点は観測井戸仕上げ	
			ボーリング箇所	38か所	23	6	9	38		
			組成分析	73検体	36	11	26	73		
			目視分類	10検体	2	4	4	10		
		バックホウ掘削	性状調査用	組成分析	10か所	0	5	5	10	最上部対象
			基盤岩深度確認用	基盤岩深度の確認	31か所	26	1	4	31	うち4地点は観測井戸仕上げ
	2次元探査による層厚把握		電気探査	6.9km	6.9	0	0	6.9		
	場内・場外地形地質踏査		基盤構造、湧水、浸出水の把握	0.35km ²	0.35	0	0	0.35		
	有害物質把握調査	有害物質把握ボーリング	ボーリング掘削延長	330m	114	149	67	330	ボーリング14地点、掘削延長330m うち14地点はガス管仕上げ(内4地点は井戸+ガス管仕上げ)	
			ボーリング箇所	14か所	5	6	3	14		
廃棄物分析			56検体	20	24	12	56			
土砂分析			56検体	20	24	12	56			
地山分析			14検体	5	6	3	14			
アスベスト、燃え殻調査		アスベスト分析	30検体(想定)	10	14	6	30			
		ダイオキシン類分析	30検体(想定)	10	14	6	30			
ボーリング調査実施上の留意点		第1種特定有害物質	26検体(想定)	14	6	6	26	52地点×1/2		
		観測井戸仕上げ(水)	21か所	15	2	4	21			
		観測井戸仕上げ(ガス)	14か所	5	6	3	14			
		作業環境及び安全管理	適宜	1			1	硫化水素、メタン等の観測		
ボーリング孔仕上げ		仕上げ	52か所	28	12	12	52	坑内に水頭が確認された場合、観測井戸設置		
水質調査	上流部沢水、プラント裏湧水等調査	トレーサー調査(流達時間の把握)	電気伝導率	7回	7	0	0	7		
		水質調査	環境基準、排出基準等	6検体	6	0	0	6	2か所×3回	
		流量及び電気伝導率観測	流量、電気伝導率、水温	2か所	2	0	0	2	連続観測、場内雨量計との比較	
		東西沢水の水質検査	電気伝導率	14検体	14	0	0	14	2か所×7回	
		浸出水調査	排水基準等	10検体(想定)	10	0	0	10	5か所(想定)×2回	
	地下水、浸出水調査	地下水位の一斉観測(流向把握)	地下水位	7回	7	0	0	7	観測井戸21か所	
		地下水モニタリング調査	地下水位、電気伝導率	2地点	2	0	0	2	連続観測	
			環境基準等	6検体	6	0	0	6	2か所×3回	
環境保全調査	内部ガス調査	メタン、硫化水素、二酸化炭素	14地点	5	6	3	14	有害物質把握ボーリングか所		
	発生ガス調査	悪臭物質、メタン、二酸化炭素	10地点	0	5	5	10	性状調査バックホウ掘削か所		
	岩盤の透水の把握	ルジオン試験	5地点	5	0	0	5			
	ガス濃度モニタリング	ボーリング地点	硫化水素、メタン、二酸化炭素	93地点	54	18	21	93	GL-1.0m	
		敷地境界	硫化水素、メタン、二酸化炭素	1地点	1			1		
	気象観測	雨量計、風向・風速計	降水量、風向・風速設置	1地点	1	0	0	1	連続観測 7ヶ月	

赤字 第2回技術部会に基づく拡大分

青字 第2回検討委員会に基づく拡大分



場内調査平面図 S = 1 / 3 0 0 0

- 地形地質踏査 0.7km×0.5km = 0.35km²
- ~~~~~ 高密度電気探査
- 既設ボーリング 地下水Br3箇所 性状調査Br1箇所
- 廃棄物ボーリング38地点 (●は井戸仕上げ 13地点)
- 有害物質把握ボーリング(ガス管仕上げ)14地点
(内 ● はガス管仕上げ+井戸仕上げ4地点)
- ◆ 表流水及び湧水調査
- ▲ バックホウ掘削(試料採取) 10地点
- ▲ バックホウ掘削(地山確認用)31地点(内▲は井戸仕上げ4地点)
- * ガス調査(ボーリングおよびバックホウ掘削位置にて実施)92地点
- * 井戸およびガス管仕上げの位置については、調査結果を踏まえ適時変更を行う